

BRIDAL

INDUSTRY
ブライダル産業新聞
NEWSPAPER

発行所：(株)ブライダル産業新聞社 〒104-0061 東京都中央区銀座 8-11-1
TEL 03 (5537) 8531 FAX 03 (5537) 8533 発行人：池田義信 年間購読料 32,400円 (消費税込み)
E-mail：info@bridalnews.co.jp

MARCH
1

第1010号



2018年秋シーズンに向けた打ち合わせのスタートを控え、いかに花嫁の情報収集に先手を打った提案ができるか。激しく変化するウエディングトレンドの波に乗っていくことが大切だ。そこで、常に流行にアンテナを張っているウエディング情報メディアの編集長達に、この秋人気になりそうなアイテム、サービス、スタイルを聞いた。

Wedding情報メディアの編集長がオススメする

「2018年秋婚」注目のトレンド

パンツスタイルや
背中空きドレスも

2018年秋婚の気になるドレストレンドは。

Wedding BOOK、Wedding navi（東京都港区）編集長の藤木眞実氏は、長袖や肩ありドレスが一世を風靡した昨年より、袖ありドレスでも「透け感」がポイントとなる予感と語る。

「たっぷり目のチュールやオーガンジー素材の長袖オーバーブラウスやオーバースカートは、普段着でも注目アイテムです。」

マイナビウエディング（東京都千代田区）編集部部長の渡邊彬子氏が注目するのはパンツスタイルのウエディングドレス。

「海外ブランドのコレクションでも発表されるなど、流行の兆しが見える。オシャレ感度の高い花嫁の間でじわじわと人気が高まっています」と語る。

背中空きスレンダードレスに注目するのは、Hotel Wedding、Hotel Wedding WEST（東京都港区）取締役編集局長の矢田泰子氏。都内のラグジュアリーホテルで結婚式をするオシャレ花嫁の定番としてスレンダーなスタイルに、背中を見せるドレスが増えている。



ゼクシィ
編集長
平山彩子氏

この秋注目のアイテム

媒体名	氏名	オススメアイテムBEST3		
ゼクシィ	平山彩子氏	アイルランナー	オリジナル引出物バッグ	コンフェッティシャワー
25ans ウエディング	榊田由紀氏	フープブーケ	ブライズメイドボックス	—
Hotel Wedding、他	矢田泰子氏	ソファコーディネート	ブライダルシューズ	背中空きスレンダードレス
Wedding BOOK、他	藤木眞実氏	たっぷり目のチュール	透け感ある袖ありドレス	サプライズある料理
マイナビウエディング	渡邊彬子氏	ドライフラワーのブーケ	ドライフラワーのリストレット	パンツスタイルのドレス
ウエディングパーク	作間友幸氏	ゲストカメラ	カードタイプの引出物	進化系ウエディングツリー
みんなのウエディング	編集担当一同	刺繍ドレス	カラフルブーケ	赤ドレス
ウエコレ	編集部	ドリップケーキ	モロッカンコーデ	枝アクセサリー
ウエディングソムリエ	坂井夏子氏	Sparklers	MESSAGE FLOWER BOX	ストリングライト

「自分のスタイルに自信があることと、結婚式に向けての美に対する意識が違います。ヘアメイクにもこだわり、ドレスとヘアメイクのマッチングが新しいスタイルを作っています。」

矢田氏はブライダルシューズへのこだわりもさらに高まるとみている。

「これまでドレスのシューズは白が定番でしたが、オシャレな花嫁たちは、セレクトやハリウッドスターご用達のJIMMY CHOOなどの一流ブランドシューズをドレスに合わせ、写真でもチラ見せし記念に残します。今年はもっと流行ると思います。」

ドライフラワーを含めた装花の注目が高まっていると語るのが、ゼクシィ（東京都中央区）編集長の平山彩子氏だ。

ドライフラワー人気
リストレットも注目

「生花だけではなく、ドライフラワーを装花に使う花嫁が増えている。持ち帰りのギフトにもなり、ドライフラワーブームでオシャレ感も増すアイデアとして取り入れられている模様。」

マイナビウエディングの渡邊氏は、ドライフラワーのブーケやリストレットがナチュラル派花嫁から人気を集めていると指摘する。牧草地風やアンティーク風など、スモーキーやグレーの色味は秋冬の結婚式にピッタリでもある。

「特にリストレットなら、ブーケを持たなくても、手元が華やかな印象になるた



25ans ウエディング
編集長
榊田由紀氏

め、結婚式でのウエディングケーキ入刀やキャンドルサービス、花嫁の手紙など、手元に注目が集まる演出の時には花嫁姿を引き立ててくれますし、そのシーンが写真映えするビジュアルになります。」

花をフープ状に（輪のよう）つなげたブーケ、フープブーケに着目するのが25ans ウエディング（東京都港区）で編集長を務める榊田由紀氏。

「アメリカでは、少し前か

2面に続く

上部の写真について

左から 背中空きスレンダードレス（Eleven Japan）、ソファを用いたコーディネート（椿ya）、コンフェッティシャワー（ドリーム）、ドライフラワーのブーケ（grantflower）